

けやきっ子

四日市市立羽津北小学校

令和2年5月28日発行

No. 5

文責：校長 植松 佳子



第1回コミュニティ・スクール運営協議会開催

5月20日（水）に、第1回けやき委員会（コミュニティ・スクール運営協議会）が開催されました。

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の方々等に一定の責任を持って学校運営へ参画していただくシステムで、学校教育活動の充実に向けて、学校、保護者、地域が協働しながら「学校づくりビジョン」の実現を図るために実施しています。

四日市市では平成22年度から「四日市版コミュニティ・スクール」が実施されており、本校は昨年指定を受け、今年2年目となります。今年度の運営協議会では、下の表の方々に運営協議会委員としてお世話いただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

先日の第1回運営協議会では、今年度の「学校づくりビジョン」について承認を受けました。今年度の学校教育目標は、昨年度に引き続き「自分らしさを出し合い、共に学ぶ子どもの育成」です。この目標を達成するために「よく考え、力いっぱい学習する」「違いを認め助け合って行動する」「進んで体を鍛え、命を大切にすること」ができる子どもをめざして学校教育活動に取り組んでまいります。

裏面に今年度の羽津北小学校づくりビジョン（保護者版）を掲載します。

今年1年、保護者や地域の皆様のお力をお借りしながら学校教育活動を進めていきたいと思っております。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



【羽津北小学校コミュニティスクール運営協議会委員の皆様】

名前（敬称略）	所属・役職
平野 正興	元PTA会長
西脇 良孝	元連合自治会副会長
宮本 正則	元PTA会長
鈴木 弘子	民生児童委員
千種 留美子	主任児童委員
荒木 照彦	前PTA会長
野口 裕	前羽津北小学校長
大西 通	羽津地区まちづくり推進協議会事務局長
澤井 宏美	PTA参与





令和2年度

学校づくりビジョン

四日市市立羽津北小学校

本校の《学校教育目標》は、「自分らしさを出し合い、共に学ぶ子どもの育成」です。

この目標を達成するために、「よく考え、力いっぱい学習する」「違いを認め助け合って行動する」「進んで体を鍛え、命を大切にする」ことができる子ども達にしたいと思えます。そのために「子どもとともに学び、自ら成長し続ける」教職員でありたいと考えます。そして、子ども達も教職員も「当たり前前のこと」が当たり前前に行えるすてきな学校になることを目指します。このビジョン実現のための具体的な取り組みとして、下記のように5つの「重点」があります。

重点
1

共に学び、確かな学力を 獲得する授業

- ①話す、聴く、話し合う、読む、書くなどの基礎基本の定着を図るために授業(学習ルールなど)を工夫します。また、個別に授業中の学習支援(T.T 少人数)をしたり、家庭学習が充実する支援(家庭読書・家庭学習のてびき)をしたりします。
- ②学び合いを基にした問題解決的な学習を充実させるために、思考力・判断力・表現力を育てるための授業を工夫したり、指導方法(タブレットやホワイトボード等の活用など)を考えたりします。



重点
2

心の教育

- ①いじめを生まない集団づくり(いじめ調査・教育相談)や主体的に子ども達が活動できる心豊かな学年・学級集団づくりを進めます。また、励ます、認めるなどの肯定的な評価をして**自己有用感**を高める取り組みを進めます。
- ②一人ひとりの違いや多様性、特徴を大切に学習支援(校内通級など)を充実させます。
- ③生活面の規範意識を高めるために「はづきたのやくそく」「けやきっ子十か条」を守れるように指導します。また、早めの指導、温度差のない指導を心がけます。



自己有用感とは、他人の役に立った、他人に喜んでもらった等、相手の存在なしには生まれてこないものです。子ども達が自信をもって成長できるよう、「ほめて(自信を持たせて)育てる」ということより「認められて(自信をもって)育つ」ことを大切にする指導を心がけます。

重点
3

体力、健康・安全意識

- ①進んで体を鍛える子ども達になるよう基礎体力・運動能力の向上(体育の授業・登山・業間マラソン・学級遊び・縄跳びなど)に取り組みます。
- ②健やかに成長できるよう保健学習や保健指導(歯みがき・手洗い・姿勢など)、食育(アレルギー対応・給食指導など)の充実に取り組みます。
- ③安心して学校生活を送れるよう危険を回避できる力をつけます。(避難訓練など)また、安全に登下校できるよう指導します。



重点
4

教職員の資質・能力

- ①国語と算数を中心に職員研修や個人研究が充実するよう取り組みます。また、保幼小中を見通した指導方法や授業を、羽津中学校区の教職員が協力して工夫します。
- ②全教職員が積極的に学校の教育活動に取り組み、お互いが連携して指導ができるよう校内の組織の充実を図ります。
- ③子どもと接する時間を増やすために、会議や仕事の効率化等を図り、改善と工夫をして「働き方」を見直します。
- ④各自の持ち味が活かされる職場になるよう、元気のある教職員集団づくりを進めます。



重点
5

地域・家庭と協働する 学校づくり

- ①学校ホームページや学校・学年だより等、地域や家庭への情報発信の充実を進めます。
- ②コミュニティスクールと連携し、地域支援ボランティアの方や読み聞かせ・語り聞かせボランティア、外部講師の方と協力して授業(チャレンジタイムなど)を充実させます。
- ③陶芸活動を実施したり、地場産業に関する教職員研修をしたりして、地域の文化や伝統産業等の教材化を行います。
- ④家庭との連携(家庭訪問・教育相談など)を密にします。また、地域の団体と連携し、家庭の教育力充実への支援をします。



羽津北小学校では、上記のように取り組みを進めていきたいと考えています。ご家庭でのご協力や見守りをよろしくお願い致します。